

# 地盤改良工事

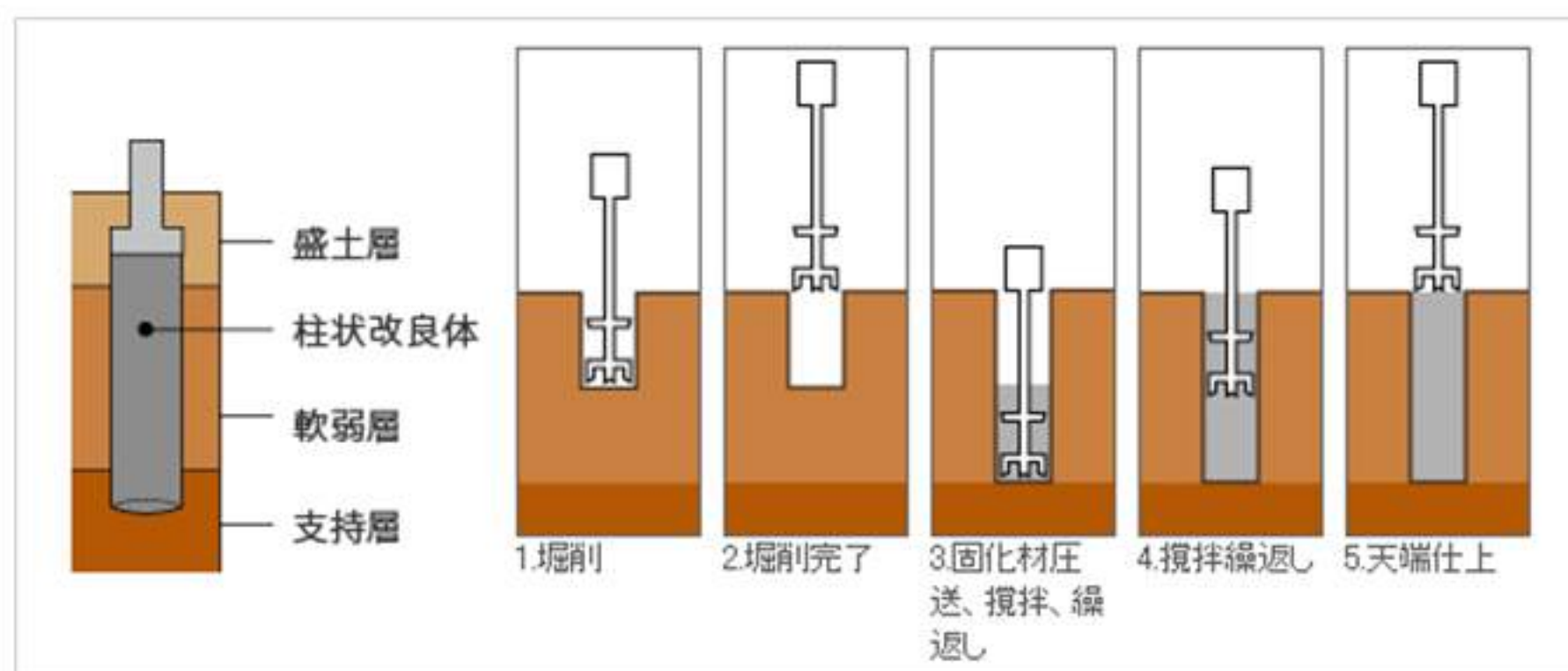
## 湿式柱状改良工法とは

地盤調査の次は地盤改良工事ですが、当社で採用している強固な柱状改良体が良好地盤まで届く湿式柱状改良工事について説明いたします。

粉体のセメント系固化材と水を、ミキサープラントで攪拌してセメントミルクを作り、それをポンプで圧送し、ロッドの先から吐出させて、地中で土とスラリー状になるまで混合攪拌して杭を作ります。そうすることで、柱状の改良体を形成し、建物地盤の支持力を向上させます。

## 湿式柱状改良工法の特徴

1. 早期に大きな強度が得られます。
2. 軟弱地盤の改良に適し、住宅を主体とした一般構造物等沈下を防止します。
3. 低圧により固化材を注入させるため、造成杭以外への流失が少なく、環境にやさしい工法です。



改良体がしっかりと良好な地盤まで届いています。田んぼ等の軟弱な土地でもしっかりとした強度にすることが出来ます。設計時における設計基準強度を満たす品質性能を確認する上で、施工時に供試体（モールドコア）を採取し、一軸圧縮試験を行い所定の強度があるかを確認しています。

